

美里繚子 原作 中村晴子

梨園の人妻  
2人の男からも  
夫にも誘われ!?

# 一月大歌舞伎

あやしひめゆうげんき  
妖姫幽玄記 二幕五場



おや  
真純ちゃん  
また  
お女将さんの  
代理で来たの  
かい？

ええ

氷室屋さんに  
初日のご挨拶に

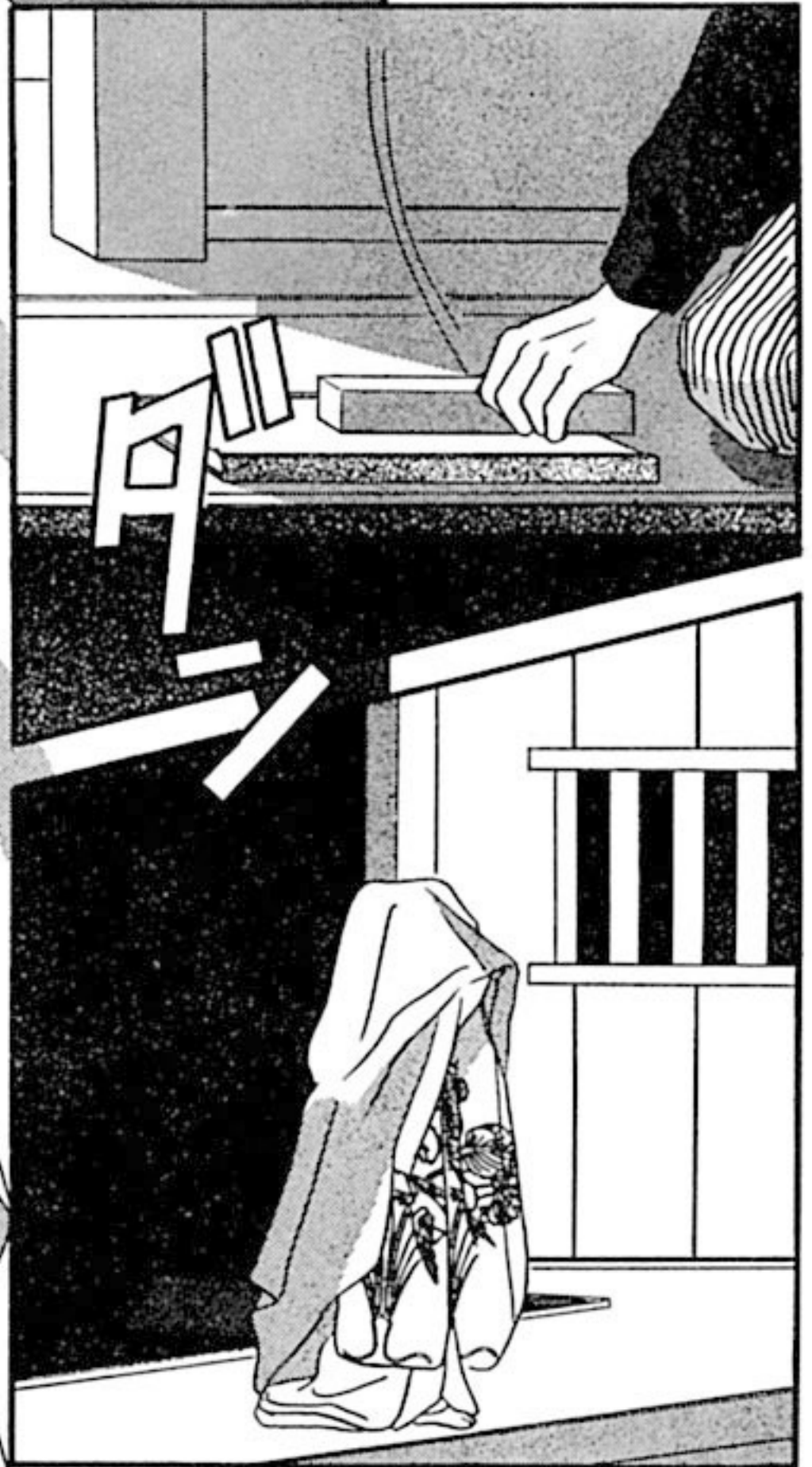


ご苦労だね



ああ

我々が  
この世に永らえて  
もう幾百年に  
なろうか



その為に  
幾人の者を  
犠牲にしてきた  
ことであらうか



我<sup>わが</sup>は  
他人<sup>たにん</sup>の快<sup>け</sup>楽<sup>らく</sup>を  
喰<sup>く</sup>っ<sup>て</sup>生<sup>な</sup>き<sup>る</sup>

花<sup>はな</sup>の化<sup>け</sup>身<sup>み</sup>  
妖<sup>ま</sup>姫<sup>めい</sup>



氷室屋!!

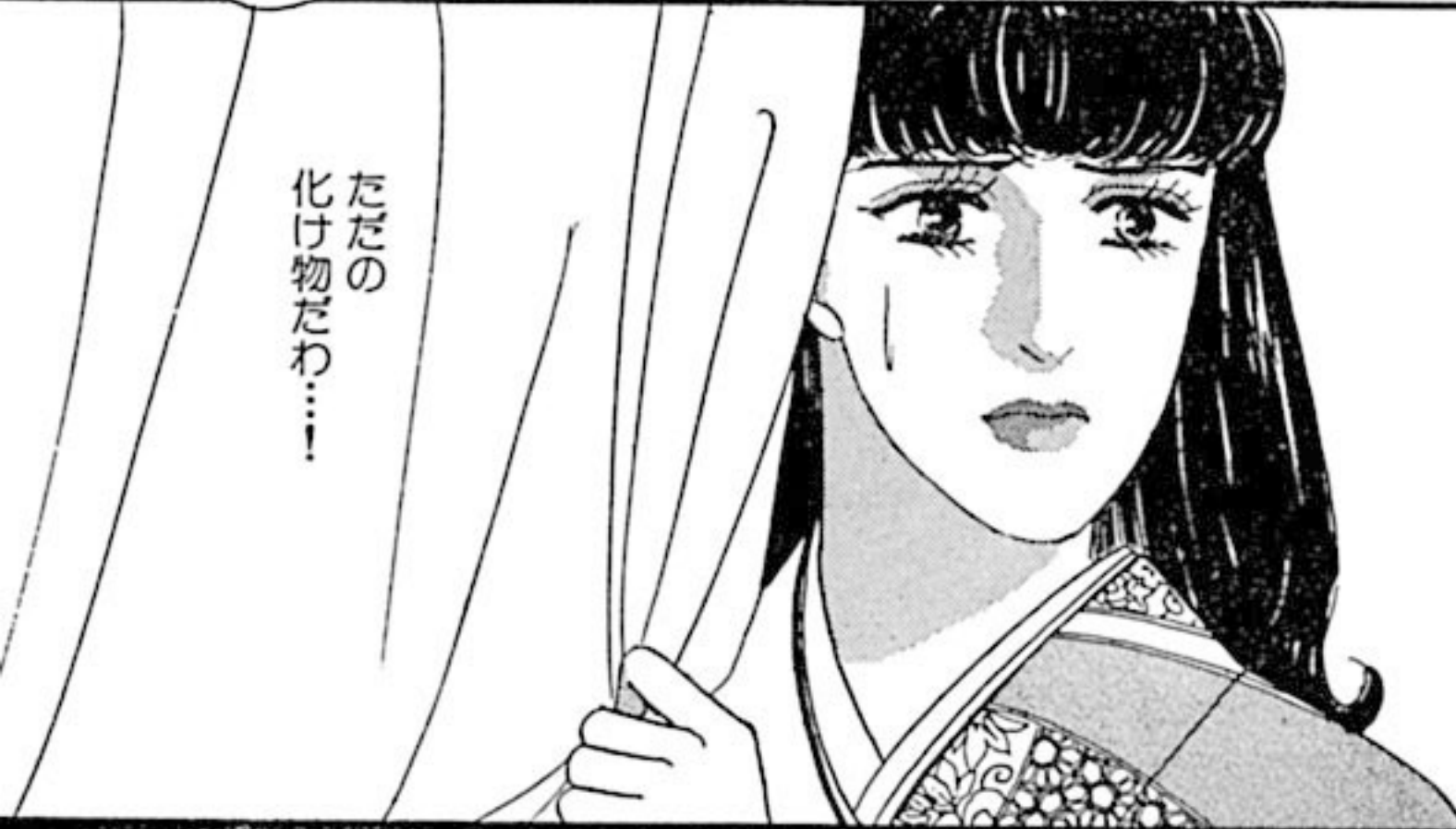
十一代目!

きれいなえ  
氷室屋

女の儂<sup>はな</sup>さと悲しみが  
匂うようだわ

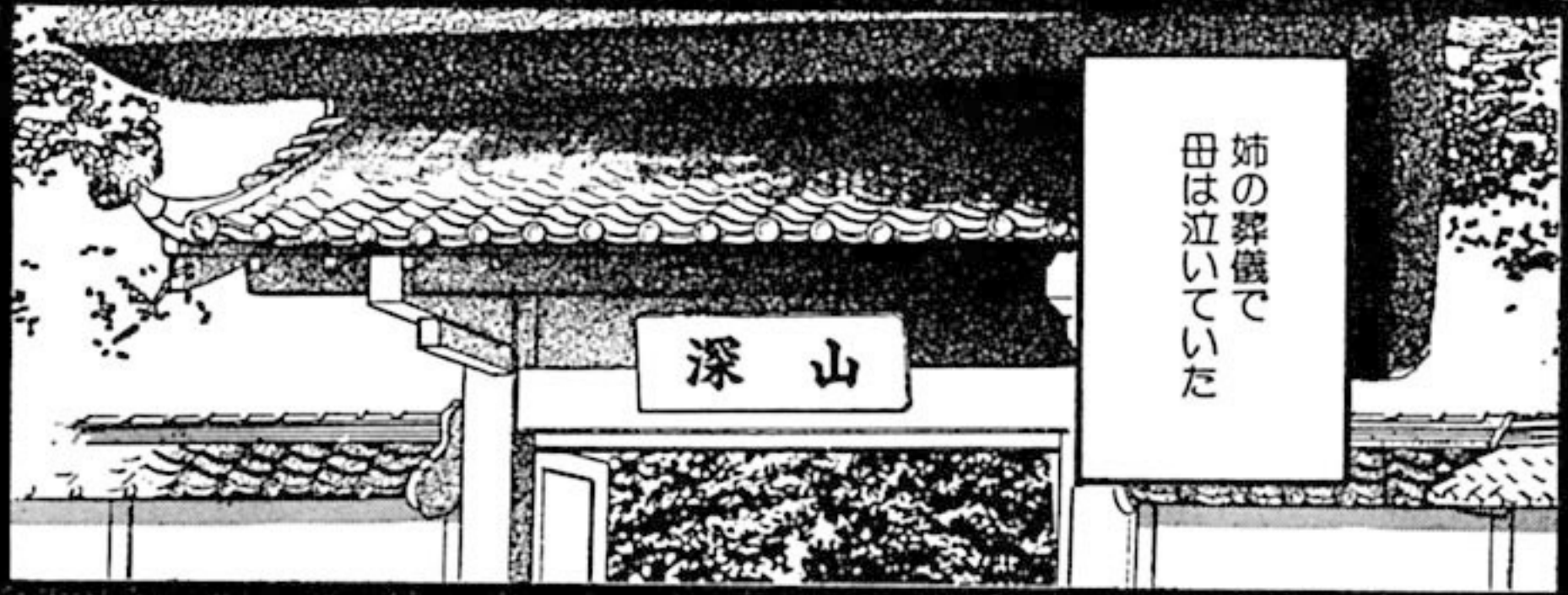
今年でもう  
五十の筈なのに  
若い娘にしか  
見えないわ

妖姫のように  
永遠に年を  
取らないのかしら



花の化身  
なんかじゃない

ただの  
化け物だわ…!



姉の葬儀で  
母は泣いていた

深山

私が至りません  
でした

私が舞台のことに  
かまけすぎたので

蓉子は淋しかったの  
でしょう

でも……  
まさか  
自殺するとは

いいんですよ  
役者は  
舞台が命

それが  
当たり前

あの子も  
御茶屋の娘  
だったんですから

それくらい  
承知の上で  
あなたと結婚  
したはずす





お義母さん

なのに  
どうして……!



蓉子  
お姉ちゃんは

この人に  
殺されたんだ  
…!!

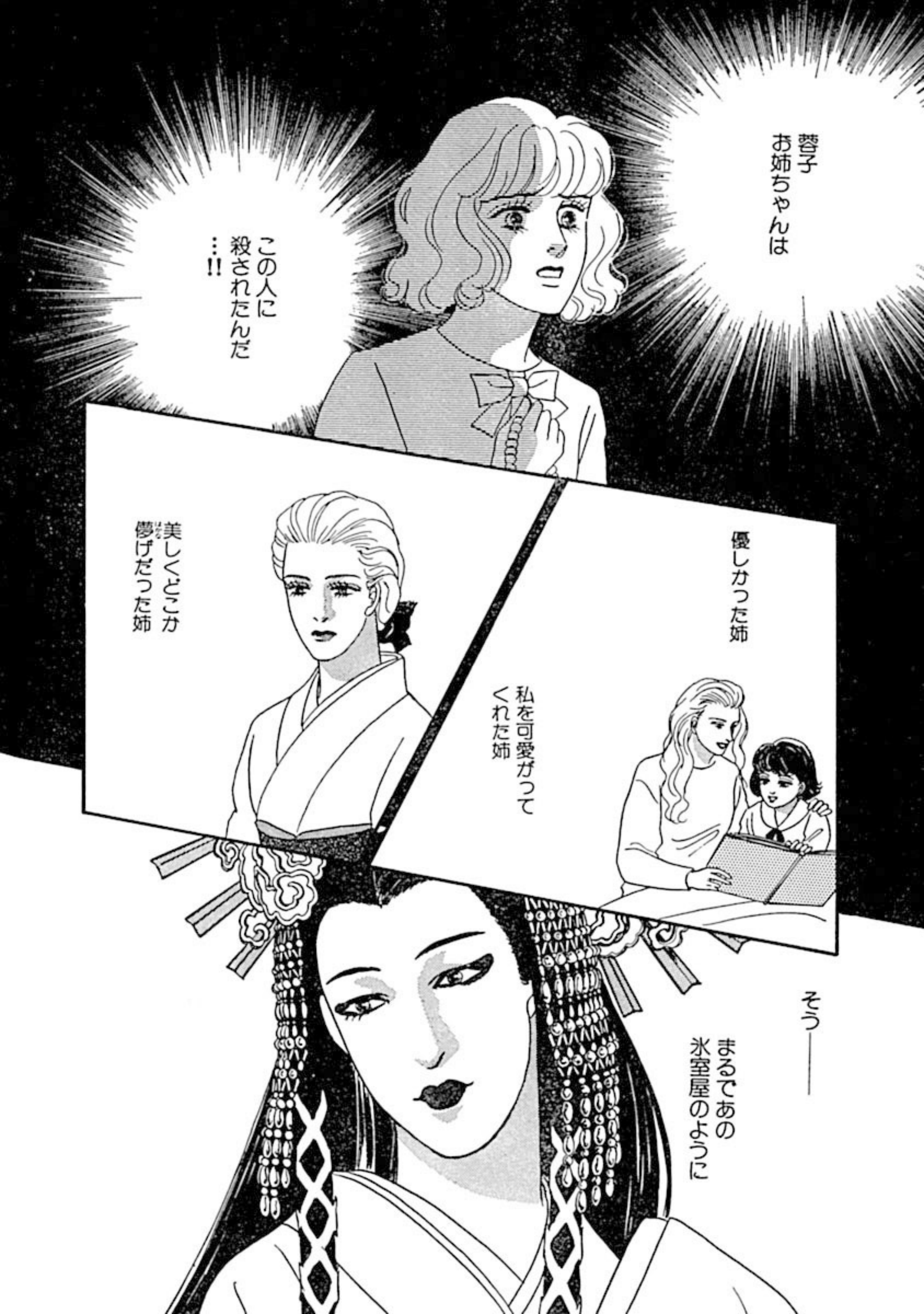
優しく  
あった姉

私を可愛がって  
くれた姉

美しくどこか  
儚げだった姉

そう——

まるであの  
氷室屋のようだ





!



とうかしてる

一瞬でも  
氷室屋が  
お姉ちゃんに  
似てると思うなんて



だけど——

あれから  
10年もたつのに

氷室屋は  
ちつとも年を  
取らない——

それどころか  
逆に美しく  
なっている



まるで  
妖姫のよう

来てくれたんだね

真純

恭一さん……!

中将さん  
出番です

ええ

じゃ  
またあとで

ア  
ニ

妖姫よ  
妖姫よ


どうぞ  
わしの愛を  
受けてください…！

恭一さん…

なりませぬぞ  
中将殿

さすればそなたは  
我わの餌食





愛する男を  
我わはもう  
そんな目には  
合わせとうはない  
…!

なんの!


それこそが  
わしの望みじゃ

そなたに  
喰わるるなら

われらはもう  
今生において  
一心同体

もう二度と  
離るることもない

妖姫  
そりや本望じゃ



中将殿…!!



わかったわ  
飯塚



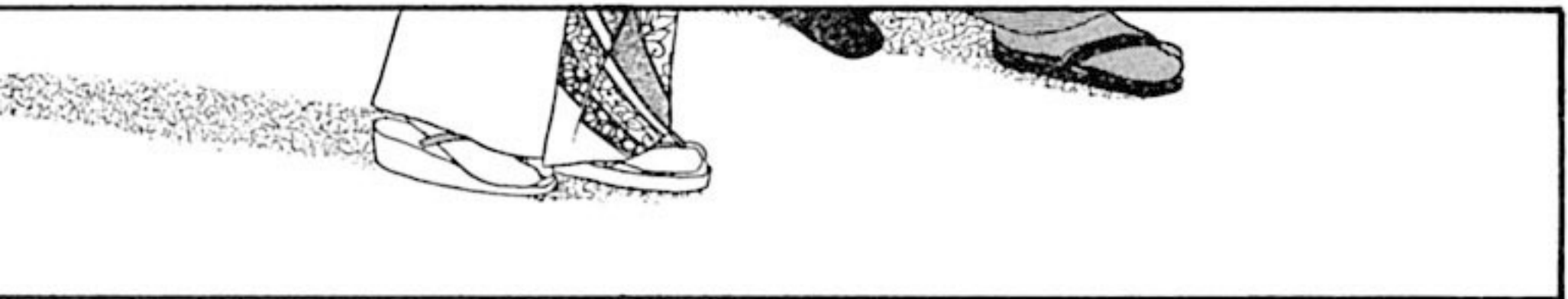
お嬢さん

そろそろ  
楽屋へ  
参りませんと



よく短期間に  
ここまで...

素晴らしい出来だわ  
恭一さん



あーら  
深山さん

今度  
お座敷  
貸してね



たーんと  
財産持った  
いい人揃んだん  
だから

こう見えても  
あたし  
モテるのよお

あらその顔でい  
うらやましいわ

あの人達は  
「深山」にとって  
大事な人達だ

もっと愛想よく  
なさってください

お嬢さん

①御茶屋とは歌舞伎の幕間に客が休息する場所だが古くは客が「役者買い」をする場所としても知られている

…わかってるわ

確かに――

客の接待だけでなく  
役者の身の回りの物を  
整えることまで  
しなければ

御茶屋は  
成り立たなく  
なっている



女将さんは  
先代が  
亡くなってから

その「深山」を  
一人で切り盛り  
なさってきました

善子お嬢さんの  
ことがあっても  
歯を喰い縛って



その女将さんが  
倒れた今

「深山」を支えることが  
出来るのは  
あなたしかいない  
です

わかってるって  
言ってるでしょ



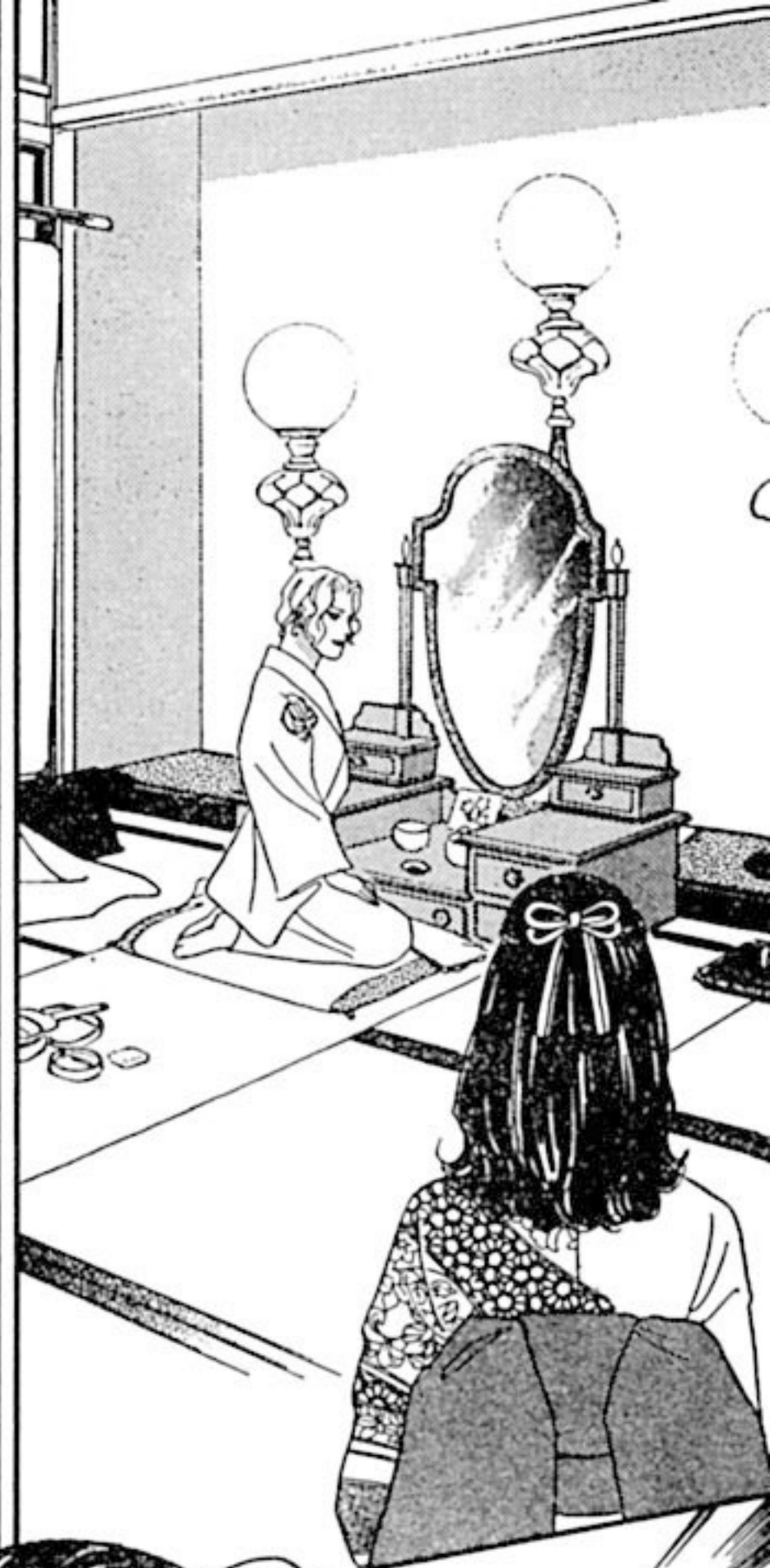
お金の為なら  
何でもする  
歌舞伎役者――

私達は  
その役者の世話を  
しなければ  
生きていけない

氷室屋十一代目  
優二郎



誰もが認める  
歌舞伎界の  
リーダー



この  
姉を殺した男が  
いないと

私達は生きて  
いけないんだわ……!







ありがとう  
真純

お前も立派に  
母親の代わりが  
勤まるように  
なったね



いいえ

私はこの  
飯塚の言う通りに  
動いているだけで



お目出とう  
ございます  
氷室屋さん

いつもにも増して  
素晴らしい舞台  
でした



今はまだ  
それでいいよ

だがそのうち  
何もかも覚えて  
くれなきゃ困る

わからないことが  
あったら  
何でもお言い